

気にかけ、支え合い、つながる！

広がっています！「見守り・訪問活動」



「見守り・訪問活動」とは…

近年の少子高齢化や単身化・核家族化により、近隣関係の希薄化が進んでいます。このため高齢者、障がいのある方、子育て中の親子など、様々な困りごとを抱える方々が、地域の中で孤立しがちです。こうした中、地域の中で、住民同士があたたかく見守り、つながりあう「見守り・訪問活動」が注目されています。今回は、この取り組みについて紹介します。



町内会ではこんな「見守り・訪問活動」を行ってます。

地域における「見守り・訪問活動」の主な担い手となるのは、町内会です。今回は、手稲区で熱心にこの活動に取り組んでいる2つの町内会を紹介いたします。

①「輪番制による負担感のない見守り・訪問活動」稻穂新栄町内会

- きっかけは、手稲区社会福祉協議会や稻穂金山地区福祉のまち推進センターが主催する研修会

同町内会は高齢者の割合が6割を占めており、高齢者を支える「見守り・訪問活動」の実施は長年の懸案事項でしたが、中川厚生部長を中心に、町内会で何度も協議を重ね、平成28年6月から見守り・訪問活動に取り組んでいます。

・輪番制を導入した見守り・訪問活動

活動者14名(男性8名、女性6名)と支援希望者10名をA、Bの2グループに分け、グループごとに輪番で月1回の訪問活動を行っています。この方法だと、各活動者は3~4カ月に1回の訪問活動で済むため、一人ひとりの負担が軽減されます。

・活動の記録をつけ、情報を共有

輪番制により引き継ぎを行う必要があるため、活動者が毎回記録を記入し、中川厚生部長が一括管理しています。

・「元気に笑顔で迎えてくれることが何よりうれしい」

見守り対象者はあくまで高齢者が多く、活動者の方が来るのを楽しみに待っているようで、訪問すると何十分もおしゃべりしているなんてこともあります。



▲見守り活動者の皆さん
写真左端が中川厚生部長

11月
スケジュール
担当者名
見守り
対象者
担当者
12月
スケジュール
担当者名
見守り
対象者

スケジュール	Aさん	Bさん	Cさん	備考
見守り 対象者	○○○○	○○○○	○○○○	災害時の みまもり
見守り 対象者	○○○○			

スケジュール	○○○○	○○○○	○○○○	備考
見守り 対象者	○○○○	○○○○	○○○○	出張時の み見守り
見守り 対象者	○○○○			

▲訪問毎に記録
するカード

▲1か月交代の輪番制
ペアを組んで訪問

②「地道にさりげなく、でも着実な活動を目指して。」星置明星町内会「支え合いの会」

- ・豊富な町内会行事が、顔の見える関係づくりにつながり、自然に受け入れられた見守り活動

同町内会では、平成29年度から「支え合いの会」と名付けた見守り活動を開始。現在は町内の75歳以上一人暮らし世帯と夫婦世帯14~15名を、町内会役員5名、民生委員児童委員1名、福祉推進員4名の計10名で見守ります。

・地区福祉のまち推進センターや警察との連携

活動者のスキルアップを目指して開催する出前講座には、地区福まちの役員も同席するほか、福祉推進員は地区福まちが主催する研修会にも毎回参加するなど、地区福まちと連携しながら活動を進めています。また、町内の防犯パトロールをきっかけに、年3回警察官との同行訪問も行っており、交通安全や特殊詐欺防止にも努めています。

・活動の中で大切にしていることは、さりげなく見守っていくこと



▲警察官との同行訪問の様子

町内会の役員、班長のみならず、見守り対象者のご近所の方にも「ちょっと気にかけてくださいね」とお願いしています。

・定期的に活動者同士が顔を合わせ、情報を共有し、個別支援へ

2カ月に1回の割合で開催される活動者の情報交換会では、お互いの活動状況について共有し、気になることがあれば会長や民生委員児童委員から専門機関につなぐなど個別支援にも努めています。

地区福まちは、町内会の「見守り・訪問活動」を支援しています！

各地区的福まちは、地域の方々の自主的な福祉活動である、町内会における「見守り・訪問活動」を中心とした日常的な支え合い活動を支援しています。



各種研修会の開催



札幌市65歳以上
世帯名簿の閲覧管理



相談支援



見守りグッズの
作成・配布 etc

地域における見守りのネットワークの構築を目指します！

手稲区社会福祉協議会では福まち、民生委員・児童委員、札幌市と見守り協定を締結した民間事業者、警察・消防・行政など、見守りに関係する活動主体が効果的に連携し、地域での重層的な見守り体制の構築に向けて情報共有を行う「地域見守りネットワーク推進会議」を開催しています。



▲11/29に初開催